

8. お知らせ

- (1) 試験問題は、試験時間終了後、持ち帰ることができます。
なお、試験問題の内容についての照会には、一切応じません。
- (2) 筆記試験について、記述式問題の出題の趣旨を後日公表します。
なお、公表した内容についての照会には、一切応じません。
- (3) 筆記試験について、希望者に対して成績通知を実施します。
なお、成績通知の再実施及び希望の有無の変更には、一切応じません。
おって、試験の採点結果に関する照会には、一切応じません。

9. 筆記試験当日の注意事項

- (1) 試験場における注意事項を厳守し、その他の事項については、試験監督員の指示に従ってください。
- (2) 筆記具以外の器具、六法全書その他の図書の使用は認められません。
ただし、問題検討のため、問題用紙に限り、シャープペンシル、ラインマーカー又は色鉛筆の使用を認めます。
- (3) 多肢択一式用答案用紙への記載は、鉛筆（B又はHB）に限り、それ以外の筆記具を使用した場合又は解答の記載に不備があった場合には、採点されません。
- (4) 記述式用答案用紙への記載は、万年筆又はボールペン（いずれも黒色のインクに限る。ただし、インクが消せるものは不可。）に限り、それ以外の筆記具（鉛筆又はシャープペンシル等）を使用した場合には、採点されません。
- (5) 試験場内では、携帯電話等の通信機器を含め、全ての電子機器類及び音響機器の使用はできません。
電子機器類及び音響機器は、あらかじめ電源を切り、必ず、かばんにしまってください（衣類等のポケットには絶対に入れないでください）。
試験中に携帯電話等の通信機器の電源が入っていることが確認された場合には、その者の答案は無効なものとして扱われます。
携帯電話等の通信機器は、電源が切れていてもアラーム等が作動する場合がありますので、アラーム等の設定をしている場合には、必ず解除してから電源を切ってください。試験中にアラーム等が作動した場合、その者の答案は無効なものとして扱われます。
なお、試験開始前に携帯電話等の通信機器の電源切断確認作業を実施しますので、円滑な作業の実施に御協力をお願いします。
- (6) 試験場内では、耳栓を使用することはできません。
- (7) 試験時間中は、受験票、時計又はストップウォッチ（時計機能のみのものに限り、アラーム等音の出る機能の使用は不可）、前記6(2)の筆記具（前記9(2)ただし書きのシャープペンシル、ラインマーカー及び色鉛筆を含む。）及びキャップ付きペットボトル飲料（※後記(8)の注意事項をお読みください。）以外のもの（定規、付箋、筆記具入れ等）は机上又は机の中には置かず、必ずかばんの中にしまってください。
ただし、事前に特別措置の申出をし、許可を受けたものは除きます。
- (8) 持ち込める飲料は、キャップ付きのペットボトル飲料（カバーは禁止）に限って認められ（机上に置けるものは、1本のみ）、その他のアルミ缶等は認められません。
なお、水滴等によって問題や答案用紙の汚損等が生じたとしても、交換には応じられないので、十分注意してください。
- (9) 試験時間中の体調不良、やむを得ずトイレに行く必要がある場合等には黙って手を挙げ、試験監督員の指示に従ってください。無断で席を立ったり、携帯電話等の不要物を携行することは禁止します。
- (10) 受験者が試験時間終了前に答案用紙を提出して受験を終了すること（途中退席）は、認められません。
- (11) 試験会場によっては、節電対策として、冷房の使用が制限される、照明の明るさが制限されるなどの措置が執られる可能性があります。また、試験室によっては、冷房の風が直接当たる場合があります。
- (12) 試験時間中に日常的な生活騒音等（試験監督員の巡回による足音・監督業務上必要な打合せなど、机・椅子がきしむ音、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、照明の点滅など）が発生した場合でも救済措置は行いません。